



2025年2月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年4月11日
東

上場会社名 株式会社セイヒョー

上場取引所

コード番号 2872

URL <https://www.seihyo.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 飯塚 周一

問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長（氏名） 安藤 力（TEL）（025）386-9988

定時株主総会開催予定日 2025年5月28日 配当支払開始予定日 2025年5月29日

有価証券報告書提出予定日 2025年5月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年2月期の業績（2024年3月1日～2025年2月28日）

（1）経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年2月期	4,484	5.3	96	76.4	123	85.9	119	94.5
2024年2月期	4,256	1.5	54	375.1	66	101.2	61	198.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2025年2月期	85.68	—	8.9	3.9	2.1
2024年2月期	39.95	—	4.4	2.2	1.2

（参考）持分法投資損益 2025年2月期 ー百万円 2024年2月期 ー百万円

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年2月期	3,289	1,395	42.4	1,000.20
2024年2月期	2,920	1,279	43.8	917.68

（参考）自己資本 2025年2月期 1,395百万円 2024年2月期 1,279百万円

（3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年2月期	34	△80	160	329
2024年2月期	169	△531	3	215

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2024年2月期	—	—	—	17.00	17.00	23	42.5	1.8
2025年2月期	—	—	—	18.00	18.00	25	21.0	1.8
2026年2月期（予想）	—	—	—	18.00	18.00		22.8	

3. 2026年2月期の業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	3,100	9.9	195	6.3	205	2.2	160	1.7	114.72
通 期	4,600	2.5	120	24.6	125	1.5	110	△7.9	78.87

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期	1,620,993株	2024年2月期	1,620,993株
② 期末自己株式数	2025年2月期	226,198株	2024年2月期	227,075株
③ 期中平均株式数	2025年2月期	1,394,642株	2024年2月期	1,537,182株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業務見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページの「1. 経営成績等の概況(3)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	8
製造原価明細書	10
(3) 株主資本等変動計算書	11
(4) キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境が緩やかに改善しているほか、インバウンド消費の拡大等により回復の兆しが見られました。しかしながら、急激な為替相場の変動やウクライナ・中東情勢の長期化など、不安定な国際情勢により物価上昇が続き、個人消費の落ち込みが見られるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

国内食品業界においては、原材料価格の高騰や人件費、物流費の上昇に伴う商品価格の値上げが継続的に行われており、消費者の節約志向は依然として強く、今後も厳しい経営環境が続くことが予想されます。

このような状況の中、当社は、厳しい環境の変化に対応するため、「中期経営計画2027」において7つの戦略的推進事項と当社が目指すべき将来像を掲げ、全社一丸となって中期経営計画の達成に取り組んでまいりました。事業環境等に左右されることなく常に安定的な利益の確保に努める経営戦略と、全社員が自身と会社の成長を実感できる働きがいのある職場環境づくりを両立し、さらなる企業価値向上に取り組んでまいります。

当事業年度の売上高は、主力のアイスクリーム部門において、既存取引先への拡販等が順調に推移していることに加え、全国的に平年よりも気温が高かった影響等もあり、かき氷製品や新潟県内で高い知名度を誇る「もも太郎」等の氷菓を中心に自社ブランド品が好調に推移いたしました。月別では、7月～8月は全国各地の大雨・台風による悪天候や新潟県内の梅雨明けが平年より遅れた影響を受けたものの、製造コスト上昇に伴う自社ブランド品の価格改定が寄与いたしました。9月～11月はアイスクリームの売上が落ち込むことから例年閑散期であるものの、OEM売上が伸長したことにより好調に推移いたしました。この結果、売上高は4,484百万円（前期比5.3%増）となりました。

①部門別売上高の概況

[アイスクリーム部門]

当事業年度のアイスクリーム部門の売上高は、3,200百万円（前期比7.9%増）となりました。かき氷製品や新潟県内で高い知名度を誇る「もも太郎」等の氷菓や復刻発売した「ビバオール」を中心に自社ブランド品が好調に推移いたしました。また、OEM受注も堅調に推移し、新潟工場は高い稼働率を維持しております。

[仕入販売部門]

当事業年度の仕入販売部門の売上高は、672百万円（前期比1.3%減）となりました。観光需要の回復に伴い、ホテル・飲食店向けの業務用商品が好調に推移した一方で、一部取引先が仕入ルートをメーカーとの直接取引等に変更したことによるものです。

[和菓子部門]

当事業年度の和菓子部門の売上高は、374百万円（前期比2.2%増）となりました。和菓子部門の主力製品である新潟銘菓「笹だんご」が僅かに減少したものの、大福のOEM受注が増加したことによるものです。

[物流保管部門]

当事業年度の物流保管部門の売上高は、237百万円（前期比2.0%減）となりました。冷凍品の保管需要は依然として高いものの、季節ごとに需要が大きく変動することから、効率的な保管スペースの確保が課題となっております。

②損益の概況

損益面につきましては、利益率の高い自社ブランド品の割合が増加したことにより営業利益率が改善いたしました。また、原材料価格や2024年問題に起因する物流コストの上昇のほか、エネルギーコストの高止まりや人件費の高騰といった製造コストの上昇に対応するため、価格改定を実施いたしました。アイスクリーム類を製造する新潟工場においては、OEM製造が増加したことにより9月以降も高い稼働率を維持しており、歩留率向上や生産トラブル減少など、原価低減活動の効果が表れております。この結果、営業利益は96百万円（前期比76.4%増）、経常利益は123百万円（前期比85.9%増）、当期純利益は119百万円（前期比94.5%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当事業年度末における総資産は前事業年度末に比べ368百万円増加し、3,289百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加額114百万円、売掛金の減少額71百万円、商品及び製品の増加額249百万円等によるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債は前事業年度末に比べ252百万円増加し、1,893百万円となりました。これは主に短期借入金の増加額115百万円、社債の増加額100百万円、リース債務の増加額44百万円等によるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産は前事業年度末に比べ115百万円増加し、1,395百万円となりました。これは主に繰越利益剰余金の増加額95百万円、その他有価証券評価差額金の増加額16百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当事業年度における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ114百万円増加し、当事業年度末の資金は329百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローは、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは34百万円の収入（前期は169百万円の収入）となりました。これは主に税引前当期純利益122百万円、減価償却費163百万円、売上債権の減少額71百万円、棚卸資産の増加額270百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは80百万円の支出（前期は531百万円の支出）となりました。これは主にアイスクリーム等製造に伴う設備投資による支出76百万円、無形固定資産の取得による支出4百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは160百万円の収入（前期は3百万円の収入）となりました。これは主に短期借入金の純増額115百万円、社債の発行による収入100百万円、リース債務の返済による支出31百万円、配当金の支払額23百万円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年2月期	2022年2月期	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期
自己資本比率(%)	50.7	52.5	52.1	43.8	42.4
時価ベースの自己資本比率(%)	64.4	63.1	198.7	85.6	89.3
キャッシュ・フロー対有利子負債(年)	0.6	1.3	1.9	4.3	27.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	62.3	36.4	19.5	16.1	2.5

・自己資本比率：自己資本／総資産

・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

・キャッシュ・フロー対有利子負債：有利子負債／キャッシュ・フロー

・インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注) 2 キャッシュ・フロー及び利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フロー及び利息の支払額を使用しております。

(注) 3 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(3) 今後の見通し

主力のアイスクリーム部門では、自社ブランド品の既存取引先への拡販や新製品の展開を進めるほか、OEM受注が堅調に推移し、売上高は前年を上回る見込みです。利益面では、原材料価格の高騰、物流費用の増加、人材確保のための費用増加などによりコスト面の負担が増加することが予想されますが、製造工場での生産性向上を推進することで収益率を改善し、前期比で増益を見込んでおります。これらの状況を踏まえ、2026年2月期通期業績予想につきましては、売上高は4,600百万円（前期比2.5%増）、営業利益120百万円（前期比24.6%増）、経常利益125百万円（前期比1.5%増）、当期純利益110百万円（前期比119%増）となる見込みであります。

また、2025年4月11日に開示いたしました「中期経営計画2027の数値目標変更に関するお知らせ」に記載のとおり、最近の業績動向を踏まえ、2025年2月期から2027年2月期を対象とした「中期経営計画2027」の数値目標を上方修正いたしました。今後も事業環境等に左右されることなく、常に安定的な利益の確保に努める経営戦略と、全社員が自身と会社の成長を実感できる働きがいのある職場環境づくりを両立し、さらなる企業価値向上に取り組んでまいります。

	2025年2月期		2026年2月期	2027年2月期
	計画	実績	計画	計画
売上高（千円）	4,300,000	4,484,618	4,600,000	4,700,000
営業利益（千円）	70,000	96,300	120,000	130,000
営業利益率	1.6%	2.1	2.6%	2.7%
当期純利益（千円）	68,000	119,504	110,000	115,000
自己資本利益率（ROE）	5.1%	8.9	7.6	7.5

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、現在、国際的な事業展開や資金調達を行っておらず、連結財務諸表の作成も行っていないため、日本基準に基づき財務諸表の作成を行っております。

I F R S（国際財務報告基準）の適用につきましては、今後の事業展開や他社との比較可能性を踏まえ、検討してまいります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当事業年度 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	215,119	329,432
売掛金	428,356	357,330
商品及び製品	455,484	705,476
仕掛品	2,203	3,711
原材料及び貯蔵品	108,221	127,130
未収消費税等	—	23,427
前払費用	12,244	13,798
その他	32,710	30,739
貸倒引当金	△4,215	△3,536
流動資産合計	1,250,126	1,587,510
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,075,999	2,083,763
減価償却累計額	△1,771,411	△1,807,671
建物（純額）	304,587	276,092
構築物	206,050	206,351
減価償却累計額	△132,481	△137,625
構築物（純額）	73,569	68,725
機械及び装置	1,398,977	1,430,913
減価償却累計額	△1,131,248	△1,157,373
機械及び装置（純額）	267,728	273,539
車両運搬具	9,698	10,473
減価償却累計額	△9,698	△9,265
車両運搬具（純額）	0	1,208
工具、器具及び備品	64,683	55,323
減価償却累計額	△58,098	△48,300
工具、器具及び備品（純額）	6,584	7,022
土地	652,066	653,300
リース資産	280,277	351,195
減価償却累計額	△108,557	△138,285
リース資産（純額）	171,719	212,910
建設仮勘定	—	935
有形固定資産合計	1,476,256	1,493,734
無形固定資産		
ソフトウェア	14,507	14,136
リース資産	1,044	417
電話加入権	1,361	1,361
無形固定資産合計	16,913	15,915

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当事業年度 (2025年2月28日)
投資その他の資産		
投資有価証券	91,372	115,667
出資金	1,068	1,068
破産更生債権等	6,688	201
長期前払費用	48,320	39,093
差入保証金	34,117	34,450
その他	2,032	1,637
貸倒引当金	△6,703	△212
投資その他の資産合計	176,895	191,905
固定資産合計	1,670,065	1,701,556
資産合計	2,920,191	3,289,066
負債の部		
流動負債		
買掛金	381,235	376,605
短期借入金	735,000	850,000
1年内償還予定の社債	—	20,000
リース債務	27,555	35,090
未払金	56,974	67,657
設備関係未払金	310	24,537
未払費用	56,391	54,396
未払法人税等	10,933	14,479
未払消費税等	25,541	—
預り金	2,861	3,429
賞与引当金	44,018	41,887
その他	5,155	4,162
流動負債合計	1,345,978	1,492,246
固定負債		
社債	—	80,000
リース債務	149,933	186,785
繰延税金負債	9,089	5,961
退職給付引当金	103,417	92,620
資産除去債務	15,124	15,124
長期未払金	17,476	21,251
固定負債合計	295,040	401,743
負債合計	1,641,019	1,893,990

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当事業年度 (2025年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	417,297	417,297
資本剰余金		
資本準備金	223,942	223,942
その他資本剰余金	12	1,091
資本剰余金合計	223,955	225,034
利益剰余金		
利益準備金	37,500	37,500
その他利益剰余金		
別途積立金	750,000	750,000
繰越利益剰余金	137,539	233,347
利益剰余金合計	925,039	1,020,847
自己株式	△333,200	△331,078
株主資本合計	1,233,091	1,332,100
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	46,080	62,975
評価・換算差額等合計	46,080	62,975
純資産合計	1,279,171	1,395,075
負債純資産合計	2,920,191	3,289,066

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
売上高	4,256,002	4,484,618
売上原価		
商品及び製品期首棚卸高	420,120	455,484
当期商品仕入高	533,290	537,926
当期製品製造原価	3,036,599	3,328,904
合計	3,990,010	4,322,314
商品及び製品期末棚卸高	455,484	705,476
売上原価合計	3,534,525	3,616,838
売上総利益	721,476	867,780
販売費及び一般管理費		
運搬保管費	244,140	280,480
販売手数料	6,416	5,817
貸倒引当金繰入額	37	△682
広告宣伝費	10,237	9,823
役員報酬	44,942	47,403
給料及び手当	143,802	150,480
賞与引当金繰入額	28,875	30,845
退職給付費用	6,898	3,923
福利厚生費	37,251	37,631
旅費及び交通費	4,045	4,717
通信費	7,165	7,727
賃借料	11,389	11,104
租税公課	15,104	16,849
交際費	2,763	3,074
減価償却費	17,580	19,174
雑費	86,237	143,108
販売費及び一般管理費合計	666,889	771,479
営業利益	54,586	96,300
営業外収益		
受取利息	288	352
受取配当金	2,756	3,964
不動産賃貸料	13,647	13,633
受取手数料	1,178	4,315
補助金収入	978	—
雑収入	7,680	22,410
営業外収益合計	26,529	44,676

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
営業外費用		
支払利息	10,143	13,514
不動産賃貸費用	1,943	1,943
株式交付費	2	—
支払補償費	1,619	—
雑損失	1,235	2,448
営業外費用合計	14,944	17,906
経常利益	66,171	123,070
特別利益		
固定資産売却益	—	308
特別利益合計	—	308
特別損失		
固定資産除却損	396	743
特別損失合計	396	743
税引前当期純利益	65,775	122,635
法人税、住民税及び事業税	10,895	13,658
法人税等調整額	△6,532	△10,528
法人税等合計	4,362	3,130
当期純利益	61,412	119,504

製造原価明細書

		前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)		当事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	
区分	注記 番号	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 材料費	※1	1,806,098	59.5	2,028,480	60.9
II 労務費		537,818	17.7	559,080	16.7
III 経費		690,215	22.8	742,850	22.4
当期総製造費用		3,034,131	100.0	3,330,411	100.0
仕掛品期首棚卸高		4,671		2,203	
合計		3,038,802		3,332,615	
仕掛品期末棚卸高		2,203		3,711	
当期製品製造原価		3,036,599		3,328,904	

(注) ※1 経費の主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
電力費	207,649	209,795
減価償却費	149,002	144,540
運搬費	72,872	77,820
修繕費	44,837	84,542

※2 原価計算の方法は、製品種類別の総合原価計算によっております。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計
						圧縮記帳積 立金	別途積立金	繰越利益剰 余金	
当期首残高	415,728	222,373	12	222,385	37,500	825	750,000	101,117	889,442
当期変動額									
新株の発行 (譲渡制限付株式報酬)	1,569	1,569		1,569					
剰余金の配当								△25,815	△25,815
当期純利益								61,412	61,412
圧縮記帳積立金の取崩						△825		825	－
自己株式の取得									
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）									
当期変動額合計	1,569	1,569	－	1,569	－	△825	－	36,422	35,596
当期末残高	417,297	223,942	12	223,955	37,500	－	750,000	137,539	925,039

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△55,945	1,471,610	30,453	30,453	1,502,063
当期変動額					
新株の発行 (譲渡制限付株式報酬)		3,138			3,138
剰余金の配当		△25,815			△25,815
当期純利益		61,412			61,412
圧縮記帳積立金の取崩		—			—
自己株式の取得	△277,254	△277,254			△277,254
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			15,627	15,627	15,627
当期変動額合計	△277,254	△238,519	15,627	15,627	△222,892
当期末残高	△333,200	1,233,091	46,080	46,080	1,279,171

当事業年度（自 2024年3月1日 至 2025年2月28日）

（単位：千円）

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
						別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	417,297	223,942	12	223,955	37,500	750,000	137,539	925,039
当期変動額								
剰余金の配当							△23,696	△23,696
当期純利益							119,504	119,504
自己株式の取得								
自己株式の処分			1,079	1,079				
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）								
当期変動額合計	—	—	1,079	1,079	—	—	95,808	95,808
当期末残高	417,297	223,942	1,091	225,034	37,500	750,000	233,347	1,020,847

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△333,200	1,233,091	46,080	46,080	1,279,171
当期変動額					
剰余金の配当		△23,696			△23,696
当期純利益		119,504			119,504
自己株式の取得	△226	△226			△226
自己株式の処分	2,347	3,427			3,427
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）			16,894	16,894	16,894
当期変動額合計	2,121	99,009	16,894	16,894	115,904
当期末残高	△331,078	1,332,100	62,975	62,975	1,395,075

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	65,775	122,635
減価償却費	166,582	163,715
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△10,700	△10,797
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,378	△2,130
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△303	△7,169
受取利息及び受取配当金	△3,044	△4,317
補助金収入	△978	—
設備負担金収入	—	△2,346
支払利息	10,143	13,514
株式交付費	2	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△308
固定資産除却損	396	743
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,066	71,025
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△35,020	△270,408
未収消費税等の増減額 (△は増加)	12,291	△23,427
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△19,383	△651
仕入債務の増減額 (△は減少)	△83,260	△4,630
未払金の増減額 (△は減少)	12,839	10,683
未払消費税等の増減額 (△は減少)	25,541	△25,541
未払費用の増減額 (△は減少)	8,868	△1,995
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△2,157	△527
差入保証金の増減額 (△は増加)	1,655	△333
その他	11,839	24,244
小計	169,399	51,976
利息及び配当金の受取額	3,044	4,317
利息の支払額	△10,517	△13,562
補助金の受取額	9,138	—
設備負担金の受取額	7,593	3,042
法人税等の支払額	△9,196	△11,086
営業活動によるキャッシュ・フロー	169,462	34,687
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△524,431	△76,275
有形固定資産の売却による収入	—	308
無形固定資産の取得による支出	△7,930	△4,955
その他	822	395
投資活動によるキャッシュ・フロー	△531,539	△80,527
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	—	100,000
短期借入金の純増減額 (△は減少)	335,000	115,000
リース債務の返済による支出	△28,042	△31,250
株式の発行による支出	△2	—
自己株式の取得による支出	△277,254	△226
配当金の支払額	△25,844	△23,370
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,855	160,152
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△358,221	114,312
現金及び現金同等物の期首残高	573,341	215,119
現金及び現金同等物の期末残高	215,119	329,432

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、冷凍食品製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を越えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を越えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称	売上高
森永乳業株式会社	1,080,055
イオントップバリュ株式会社	474,591
株式会社日本アクセス	474,430

(注) セグメント情報との関連は、単一セグメントであるため記載を省略しております。

当事業年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を越えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を越えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称	売上高
森永乳業株式会社	1,113,258
株式会社日本アクセス	556,036
イオントップバリュ株式会社	528,238

(注) セグメント情報との関連は、単一セグメントであるため記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当社は、冷凍食品製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
1株当たり純資産額 917.68円	1株当たり純資産額 1,000.20円
1株当たり当期純利益 39.95円	1株当たり当期純利益 85.68円

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2 1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

1株当たり純資産額

項目	前事業年度 (2024年2月29日)	当事業年度 (2025年2月28日)
純資産の部の合計額(千円)	1,279,171	1,395,075
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,279,171	1,395,075
普通株式の発行済株式数(株)	1,620,993	1,620,993
普通株式の自己株式数(株)	227,075	226,198
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(株)	1,393,918	1,394,795

1株当たり当期純利益

項目	前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
当期純利益(千円)	61,412	119,504
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	61,412	119,504
普通株式の期中平均株式数(株)	1,537,182	1,394,642